

新年のごあいさつ



三重県中小企業団体中央会
会長
佐久間 裕之

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申しあげます。

さて、政府による経済政策の効果により長期化しているデフレ経済からの脱却の兆しが見られ、わが国経済は、緩やかな景気回復基調にあると言われていますが、中小企業・小規模事業者については、改善の度合いが小さく、また、金融資本市場の変動など世界経済のリスクによる影響のほか、人手不足の深刻化とそれに伴う人件費等の高騰などの課題に直面し、収益状況の改善が進まず、加えて経営者の高齢化や技術革新、グローバル化への対応など先行き不透明感が依然として続いています。

このような環境の中にあって、地域経済を担い、雇用と暮らしを支える中小企業が、経済の好循環の実現に寄与するためには、自らの事業環境の変化に対応し、生産性を向上させ、収益力を強化することが重要であり、そのために、多様な経営資源を相互に補完する組合等中小企業連携組織を活用し、諸課題の解決に果敢に挑戦するなど従来にも増して自助努力を行うことが求められております。

中央会におきましては、中小企業連携組織の専門支援機関としての役割を最大限に發揮しながら、懸命の努力を続けている中小企業が経営力を強化し、組合等の連携組織が持っている企業同士の「つながる力」を大いに發揮できるよう、ものづくり、IT利活用、人材育成などをはじめとする積極的かつ多面的な支援により、中小企業、中小企業組合の持続的な成長に寄与すべく、新たな時代に即した事業を積極的かつ意欲的に展開するとともに、組合等を通じた中小企業・小規模事業者の振興を推進し三重県経済の活性化に全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

本年が皆様方にとって、明るく希望に満ちあふれた素晴らしい飛躍の1年となりますとともに、皆様方のご繁栄とご健勝を心より祈念申しあげまして、新年のあいさつといたします。



三重県知事
鈴木 英敬

明けましておめでとうございます。

三重県中小企業団体中央会並びに組合員の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の本県経済は、緩やかに持ち直していると言われるもの、多くの企業では人手不足感が高まっており、また、第4次産業革命の急速な進展、経済連携協定(EPA)締結に向けた各国の動き等、社会経済情勢は世界レベルでも目まぐるしく変化しており、企業の皆様にとって先行きが不透明な年でした。

このような中、本年は、平成29年を元年として三重とこわか国体・三重とこわか大会が開催される2021年までの「みえのスポーツイヤー」の2年目となる年であり、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が45年ぶりに本県で開催されます。さらには新名神高速道路や東海環状自動車道等の整備が進むなど、本県にとって大きな出来事が続く年となります。

中でも産業振興につきましては、「三重県中小企業・小規模企業振興条例」や「みえ産業振興戦略」に基づき、新商品開発や販路拡大、人材育成・確保等を支援しているところであります。施策を着実に推進することで、中小企業の振興や地域の活性化などに向けて精一杯取り組んでまいります。

また、平成28年5月開催の伊勢志摩サミットにより、三重県の魅力が全国・世界に発信され、「日本の文化聖地」として内外に印象付けられたことで、三重県の知名度は飛躍的に向上し、来訪者の増加などの波及効果が生まれました。

その効果を今後も持続させるため、インバウンドの拡大や県産食材の海外展開等に向けて、東京オリンピック・パラリンピックなどのチャンスを最大限に生かして、国内外の皆様の本県への関心をさらに高め、さまざまな分野で選んでもらえるよう、資源の磨き上げや情報発信等の取組を強化してまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。